

## 科目構成

### スキル別科目

研究を始めるにあたって、必要なスキルを強化することを目指します。

口頭表現  
 文章表現  
 読解(文法・語彙)  
 漢字・語彙

### アカデミック科目

専門の研究活動で求められる知識・能力を身に付けることを目指します。

AJプレゼンテーション  
 AJリーディング  
 AJライティング  
 AJコミュニケーション

### 専門への入門科目

人文社会系の専門研究で必要となる背景知識を身に付けることを目指します。

読解(作品鑑賞)  
 古典入門

## 科目内容

科目名	曜日 時限	担当 教員	内 容
口頭表現	木 4	中込	より自然でなめらかな日本語が話せるようになることを目指します。授業では音声面（発音、アクセント、イントネーション）の訓練を行ったりシャドーイングをしたりします。スピーチ発表も全員が行います。相手や場面に応じて適切に話したり、内容に応じて意見を述べたりできるように会話やディスカッションを行います。（定員 15 名）
文章表現	金 3	近藤	さまざまなジャンルの文章を取り上げ、その中で使われている言葉や表現の意味を自らの言葉で説明したり、それらの言葉や表現を使って作文したりします。また、筆者の意図をまとめる要約文や、指定されたテーマについての意見文など、まとまりのある文章の作成練習も行う予定です。（定員15名）
読解 (文法・語彙)	火 3	向井	筆者の主張を正確に理解した上で、その文章を要約したり、それに対する意見を述べたりします。書く作業も多く行い、筆者の主張に沿って、自分の意見を適切に書くための練習を多くするとともに、新たな語彙や文法知識の強化も図ります。（定員15名）

漢字・語彙	月 5	向井	漢字の字形を正確に覚え、語彙知識を着実に増やすことを目指します。授業では、語のコロケーションを覚えながら、類義語の意味の違いを考えたり、慣用句の意味を推測したりする活動を行います。また、毎回自分で作成したテストを解く活動を行い、語彙知識の定着を目指します。漢字を使わない地域からの学生だけでなく、漢字語の読み方や使用法に自信のない漢字圏の学生も歓迎します。(定員15名)
AJ プレゼンテーション	金 4	近藤	聞き手に理解してもらうためには、どのような手法が有効かに焦点をあて、話題のしぼり方、話の展開方法、効果的な資料の使い方(パワーポイント、レジュメの作り方)などを学びます。また、授業では、スピーチなどを積極的に取り入れ、フィードバックの機会をたくさん設けていきます。(定員15名)
AJ リーディング	月 4	向井	アカデミックな文章が書けるようになるためには、アカデミックな文章を多く読み、分野による書き方の違いに慣れる必要があります。この授業では、サンプルとなる論文を読んで、文体や文章構成の特徴を学び、自分の専門分野の書き方の特徴を考えます。授業では、実際に書いてみる作業も行います。(定員15名)
AJ ライティング	火 4	向井	日本語で論文を書くために必要となる基礎知識を身に付けることを目指します。論文を書くにはどのような手順を踏む必要があるのか、どのような資料をどのように引用したらいいのかなどを学び、実際に文章を書いてみます。「AJ リーディング」と同時に受講することをお勧めします。(定員 15名)
AJ コミュニケーション	木 3	中込	大学院生を主対象とし、研究過程で直面するゼミなどのディスカッションや発表にも対応できるようになることを目指します。授業ではインターアクションを重視し、皆が興味を持てるテーマで、レジュメを作成して発表やディスカッションをします。(定員 15名)
読解 (作品鑑賞)	水 2	山口	論説文、意見文、エッセイ、文学作品等様々なジャンルの文章に触れ、その文体の違いや言葉の選び方などから、執筆者の個性や意図を感じ取る力を養うことを目指します。クラスでは、特定のテーマで実際に執筆も行います。(定員 20名)
古典入門	水 3	山口	古典の学習経験がない人を対象に、古典日本語で書かれた文章を読むための技術を基礎から学びます。授業では、文法・言葉・時代背景を学びながら実際に簡単な文章読解にも挑戦します。初回3回で基礎的な文法を学び、4回目から読解を始める予定です。(定員 15名)

\*使用教材については授業で説明します。教科書を買う必要があるかどうかは、科目によって異なりますので、担当教員の指示に従ってください。

\*授業内容は受講者の状況によって調整しますので、変わる場合もあります。